

### 山手幹線 芦屋川横断工区

～掘削工事開始のお知らせ～

問い合わせ 街路課 ☎38-2074

山手幹線芦屋川横断工区（トンネル部分）の道路工事については、7月上旬から掘削工事に着手しています。掘削工事に伴い、大型ダンプが土砂を右側のルートにより、南芦屋浜へ搬出しています。

工事用車両（大型ダンプ）が通行する期間は、今年の7月上旬から12月末までの予定です。

工事用車両（大型ダンプ）の運行に当たっては、交通ルールを守り安全通行に努めますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、山手幹線芦屋川横断工区（トンネル部分）の工事の詳細については、兵庫県阪神南県民局県土整備部西宮土木事務所道路整備第1課（☎0798-39-6134）へお問い合わせください。



### 谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244  
Eメール ashya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

#### 【ロビーギャラリー】石井みやび “ほっこり書”展

■期間 7月19日～8月8日（最終日午後3時まで） ■内容 好きな言葉をデザインし、“ほっこり”するような気持ちにさせる作品やひと味違った書道作品を展示 ■作者 書道家・石井みやび氏（日展入選作家。京都光華学園伝統文化科特別講師） ■入館料 300円

#### 【夏休み子どもの教養】昔話名作読み聞かせとおやつ時間

■日時 8月4日（土）・5日（日）・25日（土）・26日（日）午後1時30分～3時 ■会場 谷崎潤一郎記念館講義室 ■内容 昔から伝わる日本・世界の名作を朗読 ■朗読 朗読グループRST・北山たか子・前田綾子/あし笛・脇村衣子・牧野伴枝 ■定員 幼稚園児～小学生30人 ■参加料 各回1,000円（おやつ代含む）※4回連続参加料＜前納＞3,500円 ■申し込み ファクスかメールで上記へ

#### 【ティータイムセミナー】陶芸 粋なまめ皿を作る

■日時 8月2日（木）・28日（火）午前10時～正午＜全2回＞ ■会場 谷崎潤一郎記念館講義室 ■内容 丸・四角・花・ひょうたんなど好きな形でまめ皿作り＜挽きたてのコーヒーも一緒に＞ ■講師 新匠工芸会会員・近藤知子氏 ■定員 20人 ■参加料 5,000円（土代800円別） ■申し込み ファクスかメールで上記へ

#### 【谷崎文学朗読会】「源氏物語」朗読シリーズ 第7回「葵」

■日時 7月28日（土）午後1時30分～3時 ■会場 谷崎潤一郎記念館講義室 ■内容 谷崎潤一郎「源氏物語」の朗読 ■朗読 朗読グループRST・松島和子・美紀高子 ■定員 30人＜要予約＞ ■会費 1,000円（入館料・ドリンク代含む） ■申し込み ファクスかメールで上記へ

### あしやの民話 ⑬ 高嶋池のがたろう

●文・三好美佐子さん  
●絵・竹本 温子さん



むかし、高嶋の池にがたろうが住んでいると言われた。

がたろうというのは、カッパのことやが、誰も、がたろうを見たという者はいなかった。

高嶋の池はため池や。高座川の水が流れこんできた池や。ナリ鉢のような形をした。きれいな水で、深く、澄んでいた。

夏の暑い日、子どもらは、よこの池で泳いだ。親たちは、そのたんびに「池で泳いだらあかん。」

がたろうに連れていかれる。「そう言うて、泳ぐことをやめさせた。」

あるとき、山へ柴刈りに行った村の人が、高嶋の池のそばを通ったとき、池の中に妙なものがおったと話した。

聞いた人らは、口をそろえて、「それは、がたろうや」と、言った。

後で分かったことやが、空の雲が水面に浮かんでいて、それを勘違いしたらしいということや。

そんなことがあっても、がたろうが池に

ると、村の人たちは信じとった。この話を聞いた深江の漁師が、「よし、おれが地引き網でがたろうを捕まえてやる」と、さっそく、地引き網を持って池にやってきた。

これには、地元の三条村の人たちが驚いた。「勝手にそんなことはせん」と言うた。

「引かせ。」

「いや引かささん。」

長いやりとりがあったが、深江の漁師は、あきらめて帰っていった。

この話も、あしやの村じゅうに広まり、寄ると、がたろうの話で持ち切りや。

「おるか？」

「おるか？」

と、朝から、一日中池のまわりにやって来ては、がたろうを見たが。

あんまり、人が集まってくるもので、それらの人を相手に、出店が並びだした。

静かな池は、あつという間ににぎやかになった。

そんなある日のこと、池の隅っこの方で、「グウア、グウア、グウア。」

と、すごい鳴き声が聞こえてきた。「そりや出てきよった。がたろうが鳴いとる」「えらいこつちや、捕まえるか」



そう言いながら、こわごわ、棒で草分けした。「あそこや、いやこつちや」と、棒でついたり、追いまわしたりして、捕まえてみると、牛がえるや。それも両手でかかえて持たなあかんぐらい、大きなかえるや。

せっかくの大捕物であったが、肝心のがたろうやない。みんながっかりした。

しばらく、がたろうの話は続いていたが、だんだん消えていった。

けれど、全然なくなったわけでもない。

「池の淵を歩いとつたら、ヒタヒタと、後ろから足音が聞こえたよって、振り返つたらドボンと、池に飛びこんだのは、がたろうみたいや。」

とかの話をする人があられると、「見つけたる。」

言うて、池のまわりに座りこんで、がたろうの現れるのを、待つとる人が絶えなかった。

秋晴れの日や。

池の水は澄んでいて、底の底まで見えるよな日や。

そこへ、村人の一人がやってきて、どっかと池のそばに座りこんだ。

じいっと、池の淵を見つめとつた。水の面が揺れた。風かと思つたが、風やない。

その時、ほんの短い時間やつたけど、長い足を二つに折って、水底で座りこんでる姿が見えた。

「あつ、がたろうや。」

思わず、声を出しそになった。がたろうは、少し体を揺すつとつた。そして消えた。

後で、その人が言うた。

「がたろうも、かわいそうや。大勢の人に騒がれたが、がたろうにとつて、ええことやない。自由にできなだもんあ。」

だんだん、だれも池に寄り付かんようになった。高嶋の池は、水を抜かれ、埋め立てられることになった。

もう誰も、この池に、がたろうがいるとか、いないとか、口にする人もいなくなつていった。

がたろうは、どこへ行ったんや。

水が抜かれた高嶋の池に、それらしい生き物はいなかったが、池のまん中にはがたろうが座っているような形をした岩が一つ転がっていた。

●「あしやの民話」は、芦屋に語り伝えられていたお話を、三好美佐子先生をはじめ、民話を研究するグループの皆さんが収集整理して、やさしく民話の形に整えられ、平成十一年に発行されたものです。

SINCE 1958 **seido** The school that gets people talking <http://www.seido.jp> **広告**

本気で学びたい人に効果的な学習方法を。

TOEFL/TOEIC10日間集中コース / 8月20日～8月31日：土日除く  
英会話10日間速修コース / 9月3日～9月14日：土日除く  
中高生のための英検対策講座5日間 / 8月9・10・11・20・21日、  
(5～準2級：対象級によって日程が異なります) 8月20・21・22・23・24日

● 夏休みの短期集中講座 ●

通常コース 体験・レベルチェック カウンセリング実施中 (要予約)  
英会話レギュラーコース・TOEIC/TOEFL講座・ABCからの英会話 (シニア対象) 小学生英語クラス・中学生英語クラス

セイドー外国語学院  
〒659-0093 芦屋市船戸町12-6  
TEL & FAX (0797) 22-9452  
E-mail: info@seido.net  
全国外国語教育振興協会加盟校

学割 5%引き (高校生以上)

阪急芦屋川駅 JR芦屋駅より徒歩5分

**大阪ガス** 事業主体 / 株式会社アクティブライフ (大阪ガスグループ77.8%出資) **www.activelife.co.jp** **広告**

生活サポートセンター **アクティブライフ 芦屋** 〒659-0013 芦屋市岩園町11-15

生活サポートセンター **アクティブライフ 山芦屋** 〒659-0082 芦屋市山芦屋町9-18

● グループホーム / 空室有ります ●  
● デイサービス / 365日祝日営業 (認知症対応型) ●  
※広告掲載時に満室の場合はご容赦願います。

● グループホーム / 申込受付中 ●  
● デイサービス / 365日祝日営業 (認知症対応型) ●  
● ホームヘルプ ●

☎0797-34-6500 ☎0797-25-7100

デイサービス利用がはじめての方へ 無料体験デイ実施中 詳しくはお電話でお問い合わせ下さい

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。